【県指定・天然記念物】

諏訪之瀬島（すわのせじま）ナベダオのツクシヤマザクラ群（ぐん）

（令和４年４月 26 日指定）

○　**所在地**　　鹿児島郡十島村諏訪之瀬島字根神嶽 382 番，383 番，384 番１，386 番，387 番，388 番

○　**所有者**　　十島村

○　**特　徴**

日本固有種であるヤマザクラは東北地方から九州まで分布し，トカラ列島を分布の南限としています。トカラ列島では中之島と諏訪之瀬島に自生が知られていますが，九州南西部以南のものは，新芽が黄緑色で，萼片（がくへん）に鋸歯（きょし）（のこぎり状の切れ込み）があること，苞（ほう）の幅が広いなどの特徴をもつことから，ヤマザクラの変種ツクシヤマザクラとして区別されています。

諏訪之瀬島では南西部のナベダオに個体群が存在しています。昭和 50 年代に牧場として開発されましたが，伐採されず島民によって保護されており，十数個体の高木が生育しています。これらは台風の影響で単幹の成長が妨げられ，複数の幹が株立ちしています。特に，海抜約 300 メートルに生育する根回り 5.4 メートルの巨木が「ナベダオの山桜」として知られていますが，倒伏した根元から枝分かれする独特の樹形に威容があります。

種の南限であるにもかかわらず，比較的多くの大木があるなど，自然個体群として貴重なものです。